KSKP 兵家連

（平成６年９月）　No. 17

編集人
兵庫県精神障害者家族連合会
南野三郎
〒650 神戸市中央区橘通４丁目１－28
辻ビル２F
TEL・FAX 078－360－2618

KSKP　一九八四年八月二〇日第三種郵便物認可　毎日発行

全国大会の成功に向けて

兵家連副会長　西浦三郎

今年の11月24～25日に神戸のポートアイランドで、全国の各地から精神障害者のご家族はじめ関係者の方々が一堂に会し、精神保健の諸問題を共通テーマに集う『第27回全国精神障害者家族大会』の開催日が、いよいよ目前に迫ってまいりました。

兵家連としましては、もちろん全国規模の大会を地元で開催するのは初めてのことで、開催準備に戸惑うことの多い毎日ですが、幸い行政ならびに関係機関、さらには多くの方々のご理解とご支援のお陰で、開催準備も大詰めに到達いたしております。

今年の大会は、昨年７月に精神保健法が改正され、さらに12月には「障害者基本法」が成立するなど、精神障害者をめぐる法制度に大きな変革が見られ、また、精神障害者対策にも変化の兆候が見られる絶好の時期に開催されます。

そのために大会プログラムも、大会第２日目の公開座談会では、『障害者基本法ができて１年』～われわれが期待するものは～と題して、専門家の方々の討論が行われますし、また、記念講演では、障害者活動に心血を注いでおられ全国的にも有名な宮城まり子さん（ねむの木学園々長）の貴重な講演なども用意されております。

兵庫県下の皆様方には、この機会に全国各地から全国大会に集まられる3千人の方々の熱意と、盛り上がる全国大会の雰囲気、ご自身の肌でじかに感じ取って頂くと同時に、遠来の客を暖かく迎えるため是非とも大会にご協力頂き、一人でも多く参加して頂くことを切にお願い申し上げる次第です。

山と海とロマンのまち神戸で会いましょう

今年の秋は全国大会で お会いしましょう!!

兵庫県立光風病院相談室　藤田修美

気象庁はじまって以来という酷暑が続いていますが、今年はそれだけではなく、兵家連にとっても私にとっても特別な年になりました。といいますのも11月24日～25日に、第27回全国精神障害者家族大会が兵庫県で開催されることになり、実行委員を仰せつかったからです。

古い話になりますが、昭和43年光風病院に就職早々のある朝、矢野院長が「家族会に行きましょう」と声を掛けて下さり、大阪中之島で開かれている第4回全家連大会に連れて行って頂いたのが、私と全家連との出合でした。その年の11月に兵庫県で全国精神衛生大会の分科会として「精神障害者家族大会」が開催され、翌年兵家連が結成されました。

その後コツコツと各記念大会・近畿ブロック研修会・国際セミナー・恒例事業になりました家族会指導者研修会・相談会等々を家族の方々のネバリとガンバリで成功させ、第27回全国大会を引受けられました事は、共に歩んだ１人として感慨深いものがあります。

大会準備の様子を少し紹介しますと、大会テーマ「ふれあいの心をみんなのまちから」は、精神病にかかった人達が生きやすい社会とは、どんな社会だろうといろいろ話し合いを重ねた結果、病気の人も、障害のある人も、子供も老人も、母も女も生きていき易い社会ではないだろうか……ということから決まりました。

皆さんいかがでしょうか……ご賛同頂けますでしょうか……

また、日頃は目の前のことに振りまわされている私ですが、大会準備にあたり、全国の家族会の動き、作業所の取り組み、グループホームの取り組み、体験者の方々の活動等について、興味ある多くの情報を得ることができました。知らなかった事が沢山ありましたし、エッそこまで……と思う活動もあり、その一番ホットなところを発表して頂くことになっております。楽しみにして下さい。

公開座談会では、国会での様子を八代英太さんから直接お話しが聞けますし、講演では宮城まり子さんの愛情あふれるお話しが聞けると、私も今から楽しみにしております。

貴方の聞きたいことが必ず聞けるそんな大会です。兵家連25年の集大成の記念すべき全国大会にお友達とお誘い合せのうえ、是非ご参加下さい。お待ちしております。

今こそ力を合わせるとき
～第27回全国大会に向けて～

姫路市中央保健所　精神保健相談員　北　村　雅　由

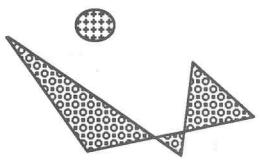
今年の11月24、25日の両日、神戸のポートアイランドにおいて第27回全国精神障害者家族大会が開かれます。そのため昨年6月より皆様の協力の下、よりよい大会にしようと準備が進められております。

さて私は相談員になって今年で2年目です。その私が就職して間もない昨年の6月、大会の準備委員会のメンバーとなった時は、正直なところ、全家連のこと、ましてや全国大会のこともよく分かっていないような状態でした。準備委員会に出ても周りはベテランの相談員やソーシャルワーカーの方ばかりで、ろくに話にもついて行けず、心細い思いをしたことを憶えております。

しかし、その準備委員会が実行委員会となって回を重ねるごとに、様々な先輩方と知り合うことができ、いろんなことを教えていただきました。その中で感じたことは、月並みな言い方なのかも知れませんが、大きな目標、大きなイベントを達成するためには、人と人とのつながり、各関係者の協力が何よりも大切だということです。今まさにこれを実感させてもらっています。

もちろんこの協力の中でも地元の家族会の協力は欠かすことができないものです。せっかく地元で開かれる大会なのですから、地域の家族会の方々が自分達の大会なのだという自覚を持ち、大会に目を向け参加して欲しいと思います。そうした一人ひとりの気持ちが大会を盛り上げますし、またそうした姿勢で大会に参加すれば何か得るものはあるはずです。そして会場で全国の家族の人達と顔を会わせ、交流を深め、和を広げることが皆さんにとって何よりも大きな意味を持つのではないでしょうか。

大会が終った後、皆さんに“いい大会だった”と言われるように、誠に微力ではありますが、精一杯努力したいと思っております。皆さんのご協力よろしくお願いいたします。



西宮くぬぎ共同作業所　窪　田　佳　子

第27回全国精神障害者家族大会が神戸市で愈々開催される事になりました。会場は神戸港に浮ぶ人工島ポートアイランドに建てられた神戸ポートアイランドホールと神戸国際会議場です。皆様の日頃取り組んでおられる活動についてお互いに話合い一人ひとりが心を開いて他の障害者や地域の人々ともふれ合いの心の輪を広げてゆけるようにしたいと願っております。大会のスケジュールは各分科会に分かれてそれぞれの立場から紹介をして頂いたりグループホームなど障害者のより暮らしやすい生活の場と援助について考えます。

基礎講座では心の病いと暮らしについて又年金医療制度の話も聞かれます。障害者基本法が

施行された今他の障害者と同じレベルまで福祉の面が充実されるように各方面へ呼びかけ理解を深めたいと思います。それについての公開座談会も催されます。宮城まり子氏の記念講演も持たれます。参加された方々が心を通わせて楽しく意義ある日程を過ごして頂けるようにもり沢山のスケジュールを組み、皆様との出合いを心よりお待ちしております。

六甲の美しい山並を背景にゆったりと展けた港町神戸はファッションの発信地としても賑わっております。三宮を起点駅として坂道を登れば異人館街の北野町へ、港へ向かえば海岸通りからメリケン波止場へと続きます。神戸港に浮ぶ人工の島ポートアイランドへは三宮の駅前からポートライナーで直結し島内にはイスラムのモスクをイメージした日本初の「コーヒー博物館」がありコーヒーにまつわる文化を詳しく展示してありコーヒー好きの方には興味深く見学して頂けると思います。

また島の最北端にある北公園には北野町から移築された旧ヘイガー邸「みなと異人館」があり港を行き交う船を眺めながらの夕暮れ時は絶景です。その他色々とファンタスティックなポートアイランドでのひとときを楽しくお過ごし頂きますようどうぞ皆様お揃いで是非神戸での大会へお越し下さい。

山と海、ロマンの街
神戸へお越しを

垂西家族会副会長　黒岩ウノ

第27回全国精神障害者家族大会が、神戸市の中心部ポートアイランドで今秋11月24日～25日開催され、兵家連がその運営のお世話をすることになりました。兵庫県精神障害者家族連合会にとって最大のイベントになります。

神戸は、山と海に囲まれたロマンの街です。西部地区の須磨海岸まで足を伸ばしますと、舞子公園から対岸淡路島への本州四国連絡橋の建設工事に進捗中です。夜は両岸と2つの橋脚を結んでいる空中の足場に灯がともり、近くの宿泊施設舞子ビラから見下す夜景もまたすばらしい眺めとなります。市の中心地山手の北野町には、異人館があり、神戸は昔からあらゆる外国人が住んでおられる国際都市として異国情緒も豊かです。

背後に六甲山系が東西に連なり、新幹線新神戸駅の北部にはハーブ園があって市民の憩いの場になっております。

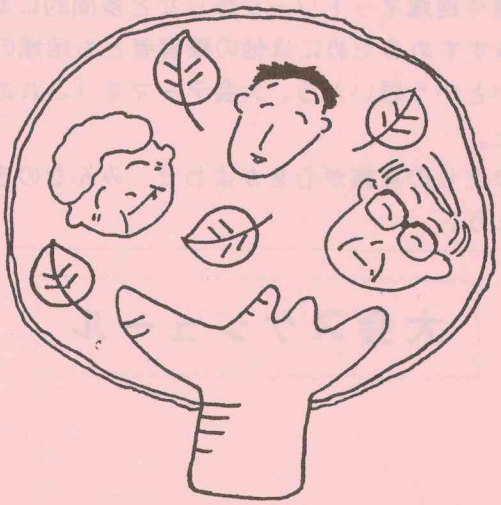
街には、中国の方々も多く中華料理店もたくさんありますし、神戸の中華料理は有名です。

JR三宮駅から会場のポートアイランドへは、無人操縦電車「ポートライナー」で行くことになりますが、ここは神戸港内に浮ぶ巨大な埋立地です。南側前方には海が広がり、北側は六甲の山すそまで広がる神戸中心地の街並が望まれます。市内見物には、三宮周辺を巡る市バスがあります。今秋には是非神戸の全国大会へおこし下さい。そして異国情緒も味わって下さい。お待ちしております。

第27回　全国精神障害者家族大会

大会テーマ

「ふれあいの心をみんなのまちから」



日　時　平成６年１１月２４日（木）
２５日（金）

［分科会・基礎講座］
［公開座談会
大会式典
記念講演］

会　場　＜11月24日＞　神戸国際会議場
住所　神戸市中央区港島中町６－９－１
TEL　０７８－３０２－５２００

＜11月25日＞　神戸ポートアイランドホール
住所　神戸市中央区港島中町６－12－２
TEL　０７８－３０２－８７８１

主催　㈶全国精神障害者家族会連合会
兵庫県精神障害者家族連合会

大会趣旨

この一年のあいだに、精神保健法改正に加えて障害者基本法が成立し、精神障害者が他の障害者と同じく、福祉の対象として法的に認められるようになりました。

私たち家族の長年にわたる活動が実り、ようやく精神障害者にも光があたりはじめたのです。

精神障害者の「暮らしの場」の問題は、全国各地で作業所をはじめ福祉ホーム、グループホームの整備や地域ネットワーク作りなど多面的に取り組まれ展開されています。が、もう一歩すすめるためには他の障害者とも地域の人々ともお互いにふれあいの心を持ちたいという思いから、大会テーマを「ふれあいの心をみんなのまちから」に決めました。

今大会を機に一人ひとりの家族が心をかよわせ、みんなのまちの中でふれあいの輪を広げていきましょう。

大会スケジュール

１１月２４日（木）

神戸国際会議場・
ポートピアホテル（懇親会）

13:00	14:00		16:30	17:30	19:30
受付	分科会・基礎講座			懇親会	

１１月２５日（金）

神戸ポートアイランドホール

9:00	9:30		12:00	13:00		14:00	14:15		15:45	16:00
受付	公開座談会		昼食	大会式典			記念講演		大会宣言	

参加費：無料　　資料代：1,000円

大会プログラム

第1日　11月24日（木）　開場13時00分

分科会・基礎講座（14：00～16：30）

第1分科会

「ふれあいの心をみんなのまちから」

～あんな活動、こんな取組～

会場：国際会議場メインホール

家族だけでガンバルのではなくて、周辺の人達をもまきこんだ活動について紹介していただき、今後の家族会活動について考えます。

司会者	兵庫県西宮保健所副所長		米田　満子
助言者	岡山県精神保健センター所長		山本　昌知
発言者	まつしの家族会会長	（大　阪）	梶川　栄一
	八起き会会長	（和歌山）	早稲田さなえ
	慈圭病院家族会会長	（岡　山）	楢村　良男
	木の芽家族会会長	（兵　庫）	西浦　三郎

第2分科会

「ふれあいの心をみんなのまちから」

～地域における作業所の役割～

会場：国際会議場国際会議室

最近の多様でユニークな作業所の取組みを紹介していただき、地域における作業所の役割と今後について考えます。

司会者	㈳大阪府精神障害者家族連合会事務局		松岡　洋二
助言者	㈳やどかりの里理事長	（埼　玉）	谷中　輝雄
発言者	洛南共同作業所所長	（京　都）	井口　芳雄
	木の根会作業所所長	（兵　庫）	石川　洋子
	山口県精神保健センター臨床心理士		伊藤　由美
	おべんとうハウス愛指導員	（大　阪）	中本　明子

第3分科会

「ふれあいの心をみんなのまちから」

～　もし働くとしたら　～

会場：国際会議場レセプションホール

働きたいが適当な職場がない、続かない等の問題を職業カウンセラー、職親、ソーシャルワーカーにそれぞれの立場から現状を紹介していただき課題を探ります。

司会者	兵庫県立精神保健センター　精神保健専門員		柴田　裕子
助言者	京都大学医療技術短期大学部助教授		山根　寛
発言者	兵庫県障害者職業センター　カウンセラー		成瀬　明子
	特別養護老人ホーム永栄園指導員	（兵　庫）	藤井　謙介
	イシイリネン株式会社 代表取締役	（兵　庫）	石井　健三
	横浜市精神障害者地域作業所連絡協議会	ソーシャルワーカー	吉塚　晴夫

第4分科会

「ふれあいの心をみんなのまちから」

～　グループホーム　～

会場：国際会議場401～402

各地で取り組まれているグループホームの実践例を紹介していただき、より暮らしやすい生活の場と援助について考えます。

司会者	尼崎市北保健所　精神保健相談員		香川　宗久
助言者	大阪府枚方保健所　保健福祉推進室長		石神　文子
発言者	グループホーム「やなぎ寮」「すみれ寮」指導員	(大阪)	横田　美貴
	やなぎ工房指導員	(大阪)	市橋　千重
	横浜市港南保健所医療ソーシャルワーカー		荒木　明美
	高知市精神障害者家族会連合会会長		山本　峯子
	グループホーム「相朋社」　同居人	(京都)	廣瀬　明彦

第5分科会

「ふれあいの心をみんなのまちから」

～　当事者の立場から　～

会場：国際会議場503～505

全国大会で初めての試みとして、大阪・兵庫で患者会活動の先頭に立っている当事者の方々が自らの想いを語ります。

司会者	ニューカトレア会代表	(兵庫)	山本　深雪
	神戸市西保健所　精神保健相談員		土井　寛子
発言者	大阪精神障害者連絡会		尾上　年秀
	大阪精神障害者連絡会		仲谷　真一
	アメニティーホーム夢野	(兵庫)	山下　直樹
	精神医療ユーザーグループ「カプリス」代表	(兵庫)	大橋　秀行

基礎講座1

心の病いと暮らしについて

会場：国際会議場501

精神病とは…、回復するということとは…、働くことだけが目標でしょうか…。患者さんの多様な生き方、暮らし方を皆で考えます。

司会者	兵庫県精神障害者家族連合会常任理事		斉賀嘉寿美
講師	宮崎クリニック院長	(兵庫)	宮崎　隆吉

基礎講座2

年金と医療費制度

会場：国際会議場502

知っているようで知らない年金制度と国民健康保険について、制度の概略と実際の運用について話していただきます。

司会者	関西青少年サナトリューム　ソーシャルワーカー	(兵庫)	青木　聖久
	兵庫県精神障害者家族連合会副会長		久保すゑ子
講師	兵庫県福祉部国民健康保険課		(未　定)
	神戸市民生局保険年金課		(未　定)
	全国精神障害者家族会連合会　相談室		池末美穂子

第　2　日

11月25日（金）　開場　9時00分

会場：神戸ポートアイランドホール

公開座談会（9:30～12:00）

「障害者基本法ができて1年」
～われわれが期待するものは～

司会者	兵庫県立精神保健センター所長	杉浦　康夫
	兵庫県精神障害者家族連合会会長	南野　三郎
発言者	参議院議員	前島英三郎（八代　英太）
	大阪府立大学社会福祉学部教授	定藤　丈弘
	朝日新聞論説委員	大熊由紀子
	全国精神障害者家族会連合会常任理事	滝沢　武久

昼　食（12:00～13:00）

大会式典（13:00～14:00）

主催者挨拶
来賓挨拶
全家連理事長表彰

記念講演（14:15～15:45）

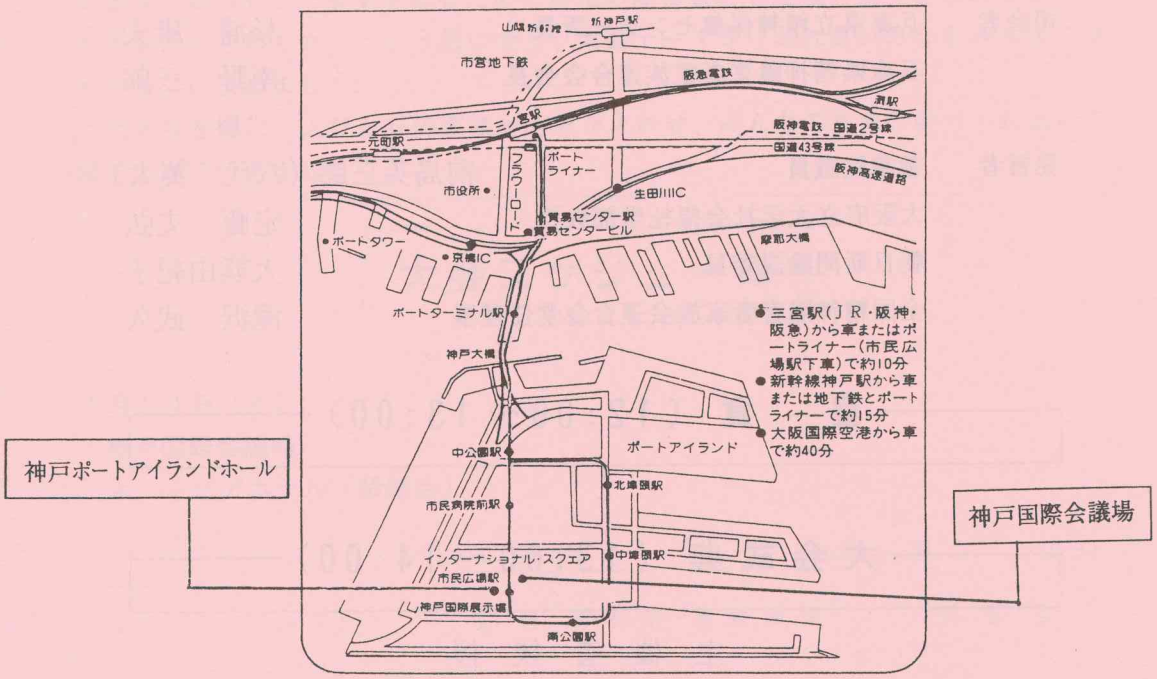
「何かが生まれる日」

講　師
ねむの木学園　園長　宮　城　まり子

大会宣言（15:45～15:55）

閉　会（15:55～16:00）

会場案内



☆大阪空港利用

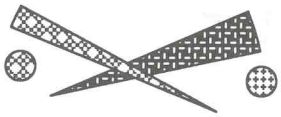
空港バスにて「神戸三ノ宮」行き終点下車。運賃830円

☆新幹線利用

「新神戸」下車。市営地下鉄にて「三ノ宮」下車。運賃180円

☆「三ノ宮」より

ポートライナーにて、「市民広場」下車。運賃240円



尼崎東家族会長　東　口　かつ子

山と海、ロマンある町、神戸で開催される精神障害者全国大会に皆様、共にいらっしゃいませんか。

待ちに待った全国大会が神戸で開催されることが、前回名古屋大会にバスで参加させていただいた時に正式に次回は神戸で行うと知り、私の小さな心はふるえ、胸がキューとしまる思いをしました。兵家連には大先輩達が多くさんおられるので、私などは下働きでよいのですが、何か心の動揺がありました。

神戸は皆様もご承知のように、山は六甲山、牧場、六甲ホテルの緑のジュータン敷き、異人館、港神戸は外国船、漁船、ポートアイランドと百万ドルの夜景などを楽しんでもらおうと思います。兵家連の人達は北は北海道、南は九州の家族会、メンバーさん達とお会い出来ることを非常に楽しみにしています。

今回は皆様もご承知の元、歌手、「ガード下の靴みがき」などで知られる、今はねむの木学園の創設者であられる宮城まり子先生を迎えての講演があります。先生の講演を楽しみに私達と共に語り合いましょう。是非おいでくださいお待ちしています。

大会申込訂正とお詫び

大会参加申込書には、都道府県連家族会でまとめて申込んでほしい旨書かれていますが、以下のように訂正いたします。ご迷惑をおかけし申し訳ございません。

家族会は、単位家族会でまとめてお申し込みいただいても結構です。

家族会未加入の方や家族以外の方で家族会経由では申込のしにくい方は、直接、日本旅行社に申し込んでください。

申込書は大会事務局（神戸市中央区橘通４－１－28 辻ビル２階

TEL／FAX 078（360）2816）にありますので、ご請求ください。

宿泊券など各種予約券は、家族会員は単位家族会宛て、家族会員以外は、団体または個人宛て郵送いたしますので紛失することなく大会当日ご持参ください。

平成６年度総会を終えて

副会長　山本春義

平成６年度総会は、さる６月11日神戸市生活学習センターで開催されました。約 180名の参加者があり、昨年の実績を参考に用意した資料に不足をきたし、急遽追加を行うなどで参加者に迷惑をおかけしました。

本年度は、さる２月25日に臨時総会を開き、平成６年度事業計画、並びに会計収支予算が成立しておりますので、６月総会では平成５年度事業報告と会計収支決算報告のみが審議されました。来賓としてご出席の兵庫県地域保健課長の祝詞では、県精神保健対策とりくみの中で、全国大会開催には応援を惜しまないとの心強いご発言を頂き、土肥衆院議員からは、入院患者給食費本人負担が決定された今、６月14日の衆院厚生委員会では、負担額の軽減措置が論議されるだろうとのお話しがありました。県会の浜崎議員からは、県議会保健環境委員として障害者対策に取り組んでいくとの言葉を頂きました。‡

議事に先だち、斉賀理事司会のもと佐藤理事を議長に選出し、第１号議案平成５年度事業報告並びに、第２号議案平成５年度会計収支決算報告が行なわれ、続いて会計監査報告のあと会場の拍手をもって議案が承認され総会議事が終了しました。

参考資料として末尾に収支決算概要を掲げております。

総会終了後講演会があり、「精神障害者の福祉の明日をめざして」のテーマで、東洋大学窪田暁子教授が講演されました。講演は参加者に大変好評でしたが、残念ながら内容については、省かせて頂きます。

以上総会について簡単に報告いたしました。

☆ ☆ ☆

10月１日より

入院時給食費に自己負担

病院等へ早めの相談を

負担額は下の通りです。

区　分	H6.10.1～	H8.10.1～	
一　般	600円	800円	
市町民税非課税世帯	450円	660円	要手続き
但し入院４カ月以降	300円	500円	要手続き
老齢福祉年金受給者	200円	300円	要手続き

作業所紹介

みちくさの会作業所について

みちくさの会　会長　平野勝夫

昭和63年頃より篠山保健所の精神保健相談日に集まる家族達が家族会を作ろうと言い出し平成2年には家族会みちくさの会が誕生し、それ以来「作業所、作業所」を合言葉に各行政機関に陳情や要望の運動と平行して私達なりに努力して参りました結果或る民家の空き倉庫50㎡をお借りする事が出来ました。

それ以前にも適当な場所もあったのですが、近隣の人達の偏見による猛反対に合い日の目を見ずに終った事もありました。

そのようにして、ようやく手にした私達のお城ですが何一つ設備、備品らしいものもなく、養護学校移転に伴う廃棄処分品を戴いて来たり、みんなの善意による持ち寄り品ばかりで、なんか体裁を整える事が出来ました。

倉庫の片隅に畳7畳を敷いたところメンバーが気持ち良さそうに、手足を伸ばしてにっこり笑っているのを見ると、作業所が出来て、ほんとうによかったと胸の熱くなるのを覚えました。今の処登録メンバーは12人で、作業内容は、みちくさ農園の稲作と丹波の特産である黒豆造りをしています。連日の日照りで水不足を心配していますが、今のところ順調に生育しています。またゴルフ場の草引きはお隣りの氷上郡、木の根作業所と合同でお世話になり吉川町の方と篠山町内ゴルフ場と週各一回ずつ通っています。それからワーキングたんばと云う知的障害者の小規模作業所のパン工房で焼かれたパンの配達を行っております。作業所内ではバザーに向けての作品を作っています。然しみちくさの会作業所は郡部であり交通の便が悪く通所希望者が有っても交通費が高く見合せている人も有ります。

作業所が出来ても嬉んでばかりも居られず、運営費の捻出や作業内容の充実等新しい問題も山積みしており、運営委員会も深夜に及ぶ事しばしばです。然し乍ら自分達の汗で作り上げた作業所でありみんな心一つにして守り育てて行きたいと決意しています。　（酒井　文子）

近畿ブロック研修会

と　き　平成6年9月16日（金）～18日（日）
ところ　滋賀県大津市唐橋町
　　滋賀県青年会館
第1日　公開講座
第2日　パネルディスカッション・分科会
第3日　合同全体会

阪神・淡路地区 家族会指導者研修会

◇
と　き　平成6年9月28日（水）
ところ　洲本市内
講　演
講　師　やどかりの里理事長
　　谷中輝雄先生
詳細は追って連絡します。

家族会紹介

高砂家族会

会長　内藤　喜美子

病院の待ち時間に、ふと目についた「ぜんかれん」の文字に気をひかれ読んでみました。家族会や病気や共同作業所のことなど、皆さんがそれぞれに地域でがんばっておられる様子を知り、早速先生に全家連についておたずねしました。

帰宅後、兵家連に電話をし、資料を送っていただくようお願いして、高砂保健所をたずねました。その時にはデイケアも加古川保健所に合流させてもらっているとのこと、家族の交流会の時にはお知らせくださるようお願いをして帰りました。

その後、二度の保健所主催の交流会に参加、皆さんがそれぞれご苦労なさっている様子をお聞きするとともに、西浦副会長さんから、兵家連の様子も知ることが出来ました。その時兵家連の一覧表を見ますと、近隣の市にはみな家族会や共同作業所があります。どうしても高砂にも家族会をの思いが皆さんの中にも一層つのり、有志が集って結成しようと決めました。

それから加古川すぎな作業所の見学もさせていただき、加古川のお母さんからはげまされるとともに、社会復帰への一つの居場所としての共同作業所の必要性も痛感しました。

7月18日、とうとうその日がきました。高砂保健所長さんはじめ多くの方々、市関係の方々、兵家連の西浦さん、すぎなの会のお母さん方にはげまされ、人数は少ないですが高砂家族会は船出をしました。名前もいろいろ考えましたが「高砂」というめでたい地名そのものでいこうと決めました。

まだまだ偏見の多い中ではありますが、あせらずお互いに助けあいながら会員を増やし、共同作業所もつくっていこうという意気込みでがんばって参りたいと思っています。

どうぞ皆様方の御支援をお願い致しましてご挨拶といたします。

句帖より（春より夏にかけて）

久山芩二

―俳句を作りはじめる動機はなんであれ、作句に手を染めてまず心を奪われるのは、それまで目に止まなかった季節と、その季節によって動かされている自然の食物とが目に見えてくることである。……

（後藤比奈夫著　今日の俳句入門　角川選書　平成六年七月三十日）

読書倦み文字摺草を眺めおり
バスの戸が開けば迫る蝉しぐれ
炎ゆるみち護走者ゆっくり動きおり
落花しきり盲導犬をつれしひと
白牡丹活け看護婦の手も白く
青蛙さわればすこし向きをかえ
母の墓文字擦りつゝ洗うなり
青蟷螂水かけられて鎌をあげ
凌霄花咲くころつらきこと多く

（一九九四・八・二七）